

北区生物マップ

浮間・赤羽エリア

街路樹の種類

記号	種	類	記号	種	類
🍌	イチヨウ	イ	🌸	ハナミズキ	ハ
🍁	イロハモミジ	イ	🌼	ヒメシヤラ	ヒ
🌿	エンジュ	エ	🍂	フウ	フ
🌳	ケヤキ	ケ	🌱	プラタナス類	プ
🌸	サクラ類	サ	🌿	マテバシイ	マ
🌸	サルスベリ	サ	🍂	モミジバフウ	モ
🌿	タブノキ	タ	🌸	ヤマモモ	ヤ
🍌	トウカエデ	ト	🌿	その他の種・複数の種	そ

公園で拾えるドングリ

記号	種	類	記号	種	類
🌰	スダジイ	ス	🌰	ウバメガシ	ウ
🌰	マテバシイ	マ	🌰	コナラ	コ
🌰	シラカシ	シ	🌰	クヌギ	ク



A 浮間公園

北区浮間2丁目と板橋区舟渡2丁目にまたがる、面積約11.7haの都立公園です。公園の中央には、面積約4haの浮間池が存在し、水辺を好む多くの生物を見ることができます。春から夏にはカルガモやバンが繁殖して、ヒナ連れの姿を見ることがあります。絶滅危惧種のコアジサシも訪れます。また、ウチワヤマン、オオヤマトンボ、コフキトンボなどのトンボ類も多く見られます。冬にはキンクロハジロ、オナガモなどのカモ類や、ユリカモメが集まります。池の北側は、立ち入りが制限されているパードサンクチュアリーです。ヨシ、マコモ、フトイなどの抽水植物の群落があり、ヨシゴイやカワセミなどの鳥類も見られます。オオタカなどのタカ類が見られることもあります。池の北東側にある水生植物園には、カキツバタ、セキショウ、シュロガヤツリなどが植えられています。



B 北区・子どもの水辺

北区・子どもの水辺は、荒川から水を取り込んだ池を中心に、様々な水辺の生きものが生活できる環境を整備した、面積3.5haの自然体験・自然学習の場です。池ではヒメガマ、アゼナルコ、キシウスズメノヒエ、エビモなど、湿った場所を好む植物が見られます。アジアイトトンボやアオモンイトトンボなどのイトトンボ類をはじめとする多くのトンボ類や、クロベンケイガニ、ミナミマエビ、テナガエビなどの底生動物も見ることがあります。水際には、タヌキの足跡がよくついでいます。コチドリやイソシギ、アオサギなど、浅い水辺を好む鳥類も見られ、冬にはヒドリガモなどのカモ類が羽を休めています。人気の高いカワセミも出現します。池の周囲にはヨシやオキギが茂り、春から夏にはオオヨシキリが大声でさえずっています。



C 荒川岩淵水門周辺

北区の北側を流れる荒川には、広い河川敷があります。土手の草地から水辺まで様々な環境があり、多くの生物が見られます。土手の草地にはイヌムギやチカラシバなど、イネ科の植物が目立ち、カントウタンポポやヤセウツボも見られます。鳥類ではヒバリやタヒバリ、昆虫類ではノサマバタやベニシジミなど、草地を好む種類が息しています。水辺に近い場所にはカワチシャやタガラシ、オニグルミなどの植物が生育しています。ハマベズクゴミシ、チャバネクビナゴミシ、ジュウサンホシテントウなど、自然度の高い水際・草地環境に生息する昆虫も確認されています。新岩淵水門の周辺ではチョウゲンボウが見られ、ハヤブサが飛ぶこともあります。水面では秋冬にはコガモなどのカモ類やセグロカモメが見られ、夏にはサゴイやコアジサシが飛びます。



D 赤羽台公園・赤羽緑道公園・桐ヶ丘中央公園

赤羽西地区には、緑豊かな区立公園が配置されています。JR赤羽駅の北西およそ600mの距離に位置する赤羽台公園には、コナラやクヌギなどの落葉広葉樹が多く植えられていて、秋にはたくさんのドングリを拾うことができます。赤羽台公園の脇から桐ヶ丘中央公園、そして赤羽自然観察公園に向けて、長さ約1kmの赤羽緑道公園が伸びています。廃線となった軍用貨物の線路跡を利用して作られた公園で、ところどころに鉄道にちなんだデザインが見られます。樹木が多く、夏にはイニセイミ、ミンミンゼミなどのセミ類や、クオアゲハ、アオシジメなどのチョウ類が見られます。桐ヶ丘中央公園は都営住宅に囲まれた公園です。ケヤキやマテバシイをはじめ、多くの樹木がっつそうと茂り、コグラヤシジュウカラなどの鳥類が見られます。



E 赤羽自然観察公園

かつて自衛隊十条駐屯地（赤羽地区）として使用されていた土地の一部に、整備された公園です。「自然とのふれあい」をテーマに整備され、公園の中央部には、自然保護区域が設けられています。公園の中央を湧水が流れていて池もあり、アカメヤナギやオノエヤナギのようなヤナギ類、ハノキ、ヒメガマなど湿った環境を好む植物が多く生育しています。昆虫類ではトンボ類が多く、ヤナギ類にはコマダラカミキリやコムラサキも集まります。自然度の高い草地に生息する、ショウリョウバッタモドキも確認されています。コナラやクヌギなどを植えた雑木林も設けられていて、カナブンやコクワガタの姿も見られることもできます。秋冬にはコガモなどのカモ類や、ショウビタキやツグミ、アオジなどの小鳥が訪れ、初夏にはヒナを連れたカルガモの姿を見ることができます。



F 清水坂公園

旧国鉄官舎の跡地に造成された、面積約2haの公園です。公園の北側内には自然観察園があり、区内の自然や生物に関する展示が行われている「自然ふれあい情報館」も設けられています。公園の外周部にはイヌシテ、ミズキ、コナラ、シロダモなどの樹木が多く、ヒメリンゴやカリン、ナツミカンなど、実のなる樹木が目立ちます。夏にはアブラゼミやミンミンゼミなどのセミ類が多く、サトキマダラヒカゲやナツアカネも見られます。自然観察園には池や水田があり、ヤナギ類やセリ、ジュズダマ、ウキクサ、コナギ、ヌカキビなど湿地を好む植物が生育し、シオカラトンボやオシオカラトンボが見られます。シジュウカラやキジバト、メジロ、オナガなど、市街地で見られる鳥類が生息していますが、秋にはヤマガラスが、エゴノキの実をついでいることもあります。



この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の「1万分」地形図を使用した。（承認番号 甲23第2種、第83号）

